

# 2001年(平成13年)の西東京市誕生から、 20年が経ちました。

成人となった西東京市が、これからも「健康」で「長生き」できる＝持続可能な行政サービスを維持できるまちとなるよう、市民の皆様の英知を結集してまいります。

## 西東京ビジョン 2021 いけざわ 池沢たかし



### わが子が成人を迎えたような気がします

私は、2001年(平成13年)の西東京市誕生の時、合併協議会の事務局職員でした。田無市と保谷市の合併は、日本全国を見ても数少ない都市型対等合併で前例がなく、難航を極めました。あれから20年が経ち、二十歳(20歳)になった西東京市。わが子が成人を迎えたような気がします。

### 子どもにやさしいまち

- 子ども条例を推進し、まち全体で子どもの育ちを支え、子どもが「ど真ん中」のまちづくりを進めます。
- 保育園の待機児童ゼロ、学童クラブの充実を図ります。
- 市内小中学校で各校に1グループ以上の「スクールサポーター制度」(仮称)を創設します。

### 健康で元気なまち

- 健康になること、健康でいることを応援できるまちを、引き続き目指します。
- 2025年を見据え、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの整備を進めます。
- 西東京市初の「児童発達支援センター」を開設し、子育てに不安を抱える家族の支援を充実させます。
- 障害のある方が地域で安心して生活できるよう、支援の充実を図ります。

### 集える場とつながりのあるまち

- 誰もが「できること」を「できるとき」に関われる「まち・地域」、多世代が重層的に活動できる全員参加型の「まち・地域」を目指します。
- 様々な活動の披露の場、交流の場として、(仮称)「西東京 ワタシ発元気サミット」を開催します。

### 安心・安全で快適なまち

- 田無駅南口交通広場の整備を進めます。
- 都市計画道路3-4・11号線の整備促進で、保谷庁舎からひばりヶ丘駅方面へのアクセスの改善を図ります。
- 井荻駅から西武柳沢駅間の連続立体交差事業を、国・都・沿線自治体と連携・協力して進めます。
- 地域防災計画の抜本的な見直しを図り、地域力を高め、地震・風水害に備えます。



## 新型コロナウイルス感染症対策は、 新たなステージへ。

市民の皆様の命と健康を守り、市民生活、市内経済を元に戻します。

### これまで取り組んできたこと

- 緊急事態宣言以降、総額約250億円の対策を実施しました。
- 近隣市に先駆けて西東京市医師会が発熱外来を設置し、市が財政支援を行いました。
- 西東京市医師会によるPCR検査センターの運営が開始されました。
- 他自治体に先駆けてワクチン接種担当を置きました。(令和2年12月)

### これからやること

- PCR検査体制は、今後も維持します。
- 希望者全員にワクチン接種を実施できる体制づくりを速やかに進めます。
- 国や東京都ではカバーできない、きめ細かな対策を、市民や商工業者の皆様の声を聴きながら、引き続き実施します。

### 市民とともに発展するまち

- 行政とともに、住民同士で動ける地域を創り、まちの「地域力」を高めます。
- まちの「ランドデザイン」～未来ビジョン～を、市民の皆様とともに策定します。

### 行財政基盤の強化を絶えず目指すまち

- 市民の皆様からお預かりした税金の使い方は常に精査し、持続可能な行政サービスを維持できるまちを目指します。
- 統合庁舎の建設時期(令和15年度目標)を延伸し、現在の庁舎機能を最大限に活用します。



池沢たかしさんに、バトンをつなぎます。  
西東京市市長 丸山浩一

### [ 連絡先 ]

住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町2-17-8  
電話 080-9454-2771

